

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	37	コロナ感染禍にあるため、利用者と家族が窓越しでの面会に留まり面会の本来となっていない状況にある。また時間制限の中、職員と家族が事業所の運営上の様々な出来事について話し合う機会が少なく理解にまで至っていない。	感染対策を十分に行い、利用者と家族、職員が安心してホームの運営や日々の出来事等について話し合いができる環境を整える。	1. 令和4.12/25より面会制限緩和策を家族に周知する。 2. アイパットを活用しZOOMにて面会ができる環境を作る。 3. 面会がある時、職員が運営上の出来事等について知らせる。 4. コロナ感染収束に伴い、日々の暮らしの中で家族が容易にホームの活動に参加できる場の提供を行う。 5. 「グループホームたより」発行を開始する。 6. 定期的家族会の発足	6 か月	
2	29	施設直近の場所に精神病院及び障害者施設等が隣接しており、ホーム玄関前の車両の往来多く事故の危険性が高い。また入院患者の突然の玄関内訪問等が時々あり、利用者からの不安の声がある。このような状況を受け玄関をロック式にしている。しかし、なぜ施錠しているかの理由に関する家族や地域住民等への説明が不足している現状がある。	「施錠の弊害」について、家族や地域住民に理解して貰えるよう職員間で検討を行い、説明や啓発活動を行い周知していく。	1. 職員間にて「施錠の弊害」について、家族及び地域住民に理解を得る方法を検討する。 2. 面会時や家族会等を利用し理解が得られる場を設ける。 3. 直近の運営推進会議にて、「玄関に鍵をかけるケアの取り組み」について具体的な事例をあげ協議する。	6 か月	
3	51	地域の認知症ケア拠点としての役割を果たすことや地域包括支援センター他関係機関との連携・地域に密着した協働に乏しい。	地域住民に施設が認知症ケア拠点であることを紹介し相談窓口となり得る活動ができる。	1. 市行政・地域包括支援センター主催による会議や研修等に積極的に参加する。 2. 柿原地区において認知症ケア拠点である事を示していく。 ①外玄関に相談窓口を掲示する。 ②サロンの的にホームを開放し集いの場とする。	6 か月	
4	18	個別の歯科訪問診療においては、口腔ケアの指導等連携が取れている。しかし、集合体による歯科医師や歯科衛生士等からの口腔ケアの指導を受ける機会を設けていない。	歯科医と連携を密にして、歯科衛生士の導入を図り、口腔ケアの充実を図る。	1. 医療連携医である「むつみ歯科」医師に歯科衛生士の派遣依頼を行う。 2. 歯科医師会へ「できる」ことへの相談を行う。 3. 歯科衛生士よりホーム看護師が口腔ケアについて指導を受ける。 4. 看護師が定期的に口腔内の観察及び口腔ケアの指導を行う。	6 か月	

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告して下さい。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他(利用者家族に評価結果を報告し、その内容について意見書を送付し意見を求めた)
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()